

1 計算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

計算のきまり

$$\begin{aligned}
 + &= + \\
 \times &= \times \\
 (+) + &= + (+) \\
 (\times) \times &= \times (\times) \\
 (+) \times &= \times + \times
 \end{aligned}$$

かけ算やたし算では、順に計算しても、まとめて計算しても答えは同じだね。

整数のときの計算と同じように、小数でも計算できたね。



かけ算では、まとめてかけても、べつべつにかけても答えは同じだね。

6.8 + 9.7 + 0.3

21 + 16.5 + 3.5

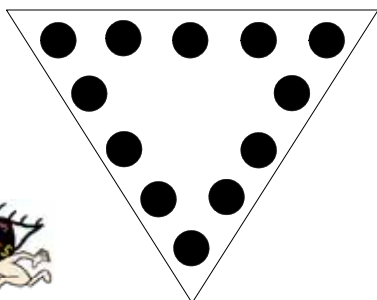
25 x 32 = 25 x () x 8 =

96 x 0.5 = (100 -) x 0.5 = 100 x 0.5 - 4 x 0.5 =

は25 x 4 = 100 を使って、は96 = 100 - 4 を使ってみよう。



2 の数を、計算で求めましょう。



重なりがないように の同じならびを3つ作ると、4 x 3 ができそうだね。一辺の の数が変わっても、きまりが分かればできるよ。

() を使って1つの式に表して答えを求めましょう。

式 (-) x 3 =

答え

を1辺に6こならべたときの の数を求めましょう。

式

答え

1 計算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

計算のきまり

$$\begin{aligned}
 + &= + \\
 \times &= \times \\
 (+) + &= + (+) \\
 (\times) \times &= \times (\times) \\
 (+) \times &= \times + \times
 \end{aligned}$$

かけ算やたし算では、順に計算しても、まとめて計算しても答えは同じだね。

整数のときの計算と同じように、小数でも計算できたね。



かけ算では、まとめてかけても、べつべつにかけても答えは同じだね。

$$\begin{aligned}
 6.8 + 9.7 + 0.3 \\
 = 6.8 + 10 \\
 = 16.8
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 21 + 16.5 + 3.5 \\
 = 21 + 20 \\
 = 41
 \end{aligned}$$

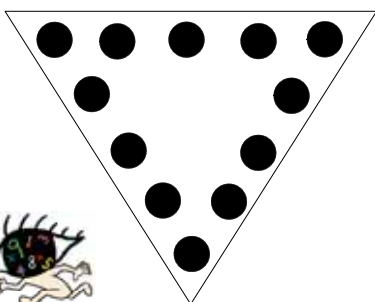
$$\begin{aligned}
 25 \times 32 &= 25 \times (4 \times 8) \\
 &= 800
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 96 \times 0.5 &= (100 - 4) \times 0.5 \\
 &= 100 \times 0.5 - 4 \times 0.5 \\
 &= 48
 \end{aligned}$$

は $25 \times 4 = 100$ を使って、
は $96 = 100 - 4$ を使ってみよう。



2 の数を、計算で求めましょう。



重なりがないように の同じならびを3つ作ると、 4×3 ができそうだね。
一辺の の数が変わっても、きまりが分かればできるよ。

() を使って1つの式に表して
答えを求めましょう。

式 $(5 - 1) \times 3 = 12$

答え 12こ

を1辺に6こならべたときの の
数を求めましょう。

式 $(6 - 1) \times 3 = 15$

答え 15こ